

5年生 国語 「調べたことを正確に報告しよう」「みんなが過ごしやすい町へ」

関連:総合 「世界を見直して環境を考えよう」



成果
と
課題

<成果>

- 意見文の書き方を掲示することで、児童が自分で書きすすめることができた。
- 様々な学習場面で、自己理解から自己選択、そして自己決定の過程を意図的に設定することの大切さに教師が気付いた。
- 児童が仲間の報告文を推敲する中で、自分の報告文に対する課題を見出すことができた。

同じ課題意識をもった仲間と読み合って、より良い報告文にしよう。

■単元について
時間:総合との関連を図り、計画の段階で活動の時間配分を児童に考えさせ、重点的に取り組みたい活動に多く時間をかけることができるようにした。
方法:学習カード活用し、仲間との学び合いを中心に取り組んだ。
環境:総合の時間と関連付けながら、1学期末の「子どもと大人が話し合う会」での、「保護者地域の方への発信」という目的意識をもたせた。

<本時の様子>各学級

- ・調査報告活動の下書きを読み合い、構成や展開について意見を伝え合って自分の報告文を見直そう。

自分たちで作った確認項目を使って、どんなアドバイスができるかな。



事実と意見の違いがはっきり分かるように語尾を分かりやすく変えた方がいいよ。



仲間へアドバイスすることで、自分の報告文をより良くする方法を考えることができるね。

<課題>

- 研究授業の成果を、他の学習場面で生かし切ることができなかった。単元づくりに対する教師の柔軟な発想が必要である。
- 自己選択を大切にしながら、児童が「学びになった」という実感を得られるようにするために必要な、見方や考え方を示すことが必要である。